「地域に根ざした開かれた学校づくりの推進」に関して

令和4年度　学校評価アンケートの結果及び分析(%表示)

評価の基準　A:よく当てはまる　B:だいたい当てはまる　C:あまり当てはまらない　D:まったく当てはまらない　E:わからない

観点	番号	内容（※ ☆は運営協議委員用の質問内容.保護者への質問は児童をお子さんへと変更している。）	教師					保護者					学校運営協議会委員					児童					総計					考察(学校)	考察(学校運営協議会委員)
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E		
基礎・基本の確実な定着に関すること	1	基本的な学習習慣の定着と児童が主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、単元テストにおいて全国平均を80%の児童が上回るようにする。 ☆学校参観から、児童は授業に真剣に学習に取り組んでいる。	17	66	17	0	0	25	72	3	0	0	100	0	0	0	0	31	61	8	0	0	31	63	6	0	0	学力テスト結果分析を行い、「算数科における自分の考えを表すことができる児童の育成」を目指して研究を進めてきた。②について、80%以上の評価を得られたのは、研究による授業改善の成果ではないかと考える。反面、①ではやや低めの評価も見られる。基礎的・基本的な内容の定着を図るために、家庭学習等の学習習慣の定着について、手立てを取る必要がある。 家庭での読書時間が少ないと考えられる。家庭と学校が連携した読書活動推進を行っていく必要がある。 一人一台端末(PC)が導入され、タブレットの積極的な活用を図り、個に応じた指導を進めてきた。今後も授業等での積極的な活用とともに、きまりや健康への影響についても指導を行っていきたい。	地域人材を生かした授業に参加する機会があり、子どもに接したり、声をかけたりして共に学び合うことができたのがよかった。今後も、地域人材を生かした授業を計画することで、児童の学力向上につながると考える。 性教育の授業を参観し、基本的な生活習慣について丁寧に指導していて感心した。学校だけでなく、保護者、地域が協力して、基本的な生活習慣の育成を目指すことが大切だと考える。 これまでの麓っ子のよさを今後も大切に学校生活を過ごしてほしいと思う。 コミュニケーション能力を高めるためにも、本を読む、文章を書くことの指導を大切にしてほしい。
	2	個に応じた指導や言語活動の充実を図るなど授業改善に努め、児童・教師相互・保護者による授業評価で肯定的な評価が80%以上になることを目指す。 ☆学校参観から、児童は、授業を通して学習内容の理解を深めている。	0	83	17	0	0	30	64	3	0	0	100	0	0	0	0	58	31	11	0	0	44	48	7	0	1		
	3	図書環境を整備し、読書活動を推進するとともに、表現活動の場の工夫や作品応募に積極的に 取り組み、自分の思いや考えを表現する力を伸ばす。　（進んで読書をしている。） ☆児童は、本に慣れ親しみ、進んで本を読もうとしている。(読書量のデータの紹介)	50	50	0	0	0	17	11	39	30	3	75	25	0	0	0	31	39	30	0	0	28	27	31	13	1		
	4	学習において、一人一台端末等ICTの効果的な活用を図り、児童がPC(タブレット)を用いて自分の考えを表したり、積極的に問題を解くことができるようにする。 ☆学校は、授業でタブレットやICTの活用を進めている。	50	17	33	0	0	47	47	3	3	0	50	50	0	0	0	44	42	8	6	0	46	43	7	4	0		
基本的な生活習慣、豊かな心の育成に関すること	5	元気なあいさつ・返事、正しい言葉遣いができ、廊下歩行等のマナーを守れるようにする。 ☆児童は、学校や自分たちの住んでいる地域で、元気なあいさつや返事、正しい言葉遣いができ、きまりを守って生活している。	0	33	67	0	0	5	67	28	0	0	0	100	0	0	0	25	53	14	3	5	13	61	23	1	2	地域の方への挨拶や場に応じた言葉遣いはまだ十分ではないといえる。日々の挨拶の指導をくり返し重ねていく必要がある。特に、児童が主体となる挨拶運動を計画し、啓発を図っていきたい。また、行事は、地域の方と挨拶を交わす貴重な機会であるため、効果的な挨拶指導の場として生かしたい。 清掃・ボランティア、栽培活動での保護者の評価にばらつきが見られる。参観日に清掃活動を見ていただいたり、学級通信等で朝のボランティア活動の様子を知らせたりする工夫が必要である。また、一人5鉢活動では、保護者の参加を積極的に呼びかけ、保護者と学校が協力して、児童のボランティア精神や態度を育てていけるようにしたい。	登下校時や遊んでいる時に地域の方と会ったら、進んで挨拶ができるようになることを望む。 登下校時の挨拶の声が、元気にできたらいいと思う。 毎週火曜日のボランティア活動を行っていると知り、継続してほしい。 児童と地域ボランティアが一緒に「一人5鉢」の植栽活動をしており、環境作りがきていると思う。
	6	清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組めるようにする。 ☆学校参観から、児童は、清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組んでいる。	33	67	0	0	0	14	64	5	3	14	75	25	0	0	0	67	22	6	3	2	41	45	5	2	7		
	7	人権教育・道徳教育の充実を図り、自他の生命の尊重と他を思いやる心を育てるとともに、思慮深く善悪を判断して行動できるようにする。 ☆学校参観や地域での活動から、優しく人に接し、親切にするとともに、時と場を考えた行動ができている。	17	83	0	0	0	11	58	25	0	6	25	75	0	0	0	33	53	6	5	3	22	59	13	2	4		
健康・安全・体力の向上に関すること	8	安全指導の徹底を図り、命を大切にする心、態度を育成する。 ☆学校参観から、児童は自分や友達のことを大切にし、安全に気を付けて生活している。	17	83	0	0	0	22	72	6	0	0	75	25	0	0	0	61	31	5	3	0	41	53	5	1	0	避難訓練や引き渡し訓練を計画的に行い、保護者の協力も得ながら、命を守る態度の育成に努めることができた。参観日では、道徳や保健の授業を保護者・地域の方に見ていただき、生命尊重や思いやりの心を育てる指導への理解を得ることができた。 学校保健委員会では、外部講師を招き、上学年と保護者が参加し食と健康について学んだ。自分の身体と健康について意識を高めることができた。 体力テストの結果から明らかになった課題の体力向上に向けて、体力向上プランを作成した。体育の授業の初めに体力づくりトレーニングを設定する等取り組んでいく必要がある。	3校合同の青井岳登山では、他校に友だちもできていた。山之口小や富吉小との交流は大切だと感じる。 見守り活動では、児童の安全を守るための活動が続いている。 児童の通学路において、大雨による増水の危険個所を児童とともに確認する必要がある。学校や家庭は、児童に対して、大雨の時に用水路や溝に近づかないよう命を守る指導を繰り返し行ってほしい。 雨天時の保護者の送迎が多いと感じる。弱い雨の時には、雨の中を傘をさして歩く経験も必要だと思う。 コロナ禍で、合同運動会の地域競技種目を地区と学校、PTAが話し合い、工夫して無事に開催できてよかったと思う。 コロナ禍のため、以前のように、合同運動会での中学生のお手伝いが頼めず、中学生の頑張る姿が見られないのは残念だ。
	9	保健指導や食育の充実を図り、健康に生活できる力を育てる。 ☆学校参観から、児童は、健康や安全に気を付けて生活している。	0	100	0	0	0	20	69	11	0	0	100	0	0	0	0	56	30	14	0	0	38	51	11	0	0		
	10	体力向上プランに沿って、体育科学習指導や教科外における活動の充実を図り、児童一人一人の課題となっている体力の向上に努め、スポーツテストのA・B・C判定90%以上を目指す。 ☆学校参観から、児童は、進んで運動し、自分の身体をきたえている。	0	83	17	0	0	33	39	17	11	0	50	50	0	0	0	50	33	6	3	8	39	40	11	6	4		
地域に根ざした開かれた学校づくりに関すること	11	保護者や地域の方の評価や意見を受け、連携して教育活動にあたり、保護者や地域の方の期待に応える学校づくりを推進する。 ☆学校は、学校の教育活動について適切にお知らせをするとともに、地域の方々からの要望に対して適切に対応している。	33	67	0	0	0	54	46	0	0	0	100	0	0	0	0						53	47	0	0	0	学校だよりの地域への配布や学校ホームページによる学校生活の紹介等、学校からの発信を保護者や地域の方々が温かく受け止めてくださり、ご理解をいただいている。 米作り活動や人形浄瑠璃伝承活動、もちつき大会等、学校の計画に多くの地域支援ボランティアの方々が参加し、協力をして下さるおかげで、児童が貴重な体験をすることができている。地域・保護者・学校の連携がさらに深まるよう今後も取り組んでいく。 3校合同の登山や他校との合同校外学習を行い、山之口町内の児童の交流が図れるよう努めていく。また、山之口地区小中一貫教育研修の内容や実践を地域や保護者へ知らせる機会を設けることで、山之口地区の連携を強化していきたい。	学校の様子を知る際に、ホームページの学校活動ブログを参考にさせてもらっている。 拡大運営学校協議会の開催が計画されたが、新型コロナ感染症の感染状況により、中止となった。大勢の意見を子どもたちのために反映することは大切だと考えるので、今後も拡大学校運営協議会の開催をお願いしたい。 保存会会員の協力により、児童の人形浄瑠璃の伝承活動も可能な限りの活動ができてよかった。6年児童が意見発表会にて人形浄瑠璃伝承活動について、発表したのはうれしいことであった。 学校便りが全戸に配布されることで、子ども達の様子を地域全体が知ることができ、大変よいことと思う。 いろいろな場面で、地域と子どもとの合同の活動を行うことができた。今年は、地域ボランティアの名前を知ってもらうために名札着用をしたが、子どもも同じような名札を着用すると相互の交流がさらに深まると考える。
	12	文弥節人形浄瑠璃の伝承活動ならびに地域との交流や体験活動に取り組むとともに、地域の人材や施設・文化財を積極的に活用し、ふるさとを愛する心や感動する心、感謝する心を育てる。 ☆学校は、地域の伝承活動(人形浄瑠璃など)や行事に積極的に取り組んでいる。	83	17	0	0	0	63	33	4	0	0	100	0	0	0	0						71	26	3	0	0		
	13	保育所・近隣の小学校・中学校との連携と相互評価を深め、系統性・一貫性を意識した共通指導と個に応じた指導を充実させる。 ☆学校は、地域の保育所・小学校・中学校・地域との連携を深めて教育活動に取り組んでいる。	17	83	0	0	0	46	46	4	0	4	75	25	0	0	0						44	50	3	0	3		
意見等																													